

多賀地区タウンミーティング開催報告

日 時	令和2年12月11日（金）19：30～21：00	
場 所	多賀公民館2階集会室	
参加者	<p>【地域側：10人】多賀地区連合自治会長、北条連合自治会長代理、北条新田自治会長、多賀幼稚園長、民生児童委員地区会長、社会福祉協議会多賀支部長、多賀老人クラブ連合会長、婦人会長、小学校PTA会長、体育協会会長</p> <p>【行政側：4名】市長、多賀公民館長、政策企画課長、公共施設マネジメント推進係長</p>	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1.開会 2.多賀地区連合自治会長 挨拶 3.市長挨拶・総合計画のポイントと事業説明（別添資料①） 4.テーマ「公共施設のあり方」に関する現状と課題等説明（別添資料②）・意見交換 5.まとめ・閉会 	
概 要		
自治会長挨拶	<p>この会で西条市が抱える課題を地域の皆さんと市が共有し、共に考え話し合うことで、これからの西条市、多賀地域が明るく住みやすい街になりますようご意見をいただきたい。</p>	
市長事業説明	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市は今後30年間で約3万人の人口減少が予測されている。 （約108,000人：2015年実績 → 約78,000人：2045年時点の人口推計値） ・上記3万人の内、多くが15歳～64歳→働く世代がいなくなることで、地域や産業の課題増が予想される。 ・「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題とした総合計画後期基本計画を策定。2045年時点の人口推計値 約85,000人を目指す！ ・優先目標を3つ設定。A)健康寿命の延伸、B)働きがいの創出・経済活力の維持、C)経営感覚のある行財政運営の実践。 ・市民・事業者の皆さん、行政がともに力を合わせて、将来世代にバトンタッチできる「持続可能な西条市」を実現しよう。 	
テーマに関する現状等	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市の公共施設は、同規模自治体の1.6倍(延床面積)あり、その半分以上が老朽化(築30年超)している。 ・公共施設マネジメントとは、施設の安全管理と財源確保を両立するための適正配置を実現することである。 ・人口減少・少子高齢化を踏まえ、今後の行政サービスにおいて、削減余地があるのは公共施設のみである。 ・建物は縮減しても機能やサービスの向上を図る「縮充」の発想で施設のあり方を見直すことが大切である。 ・市民のみなさんと情報を共有し、思いを共感し、新しい公共施設のかたちを考える共創を目指していきたい。 	
参加者の発言要旨		市の発言要旨
<p><公共施設マネジメントについて></p> <p>建物はきちんと補修費を充てれば、そこそこ維持管理できると思うが、現状のままでいくと、多額の更新費がかかることに驚いた。（推計：年間58億円）</p> <p>人口減少が想定される中で、施設は集約などにより、効率よく運営していく必要があると思う。その判断基準の一つとして、利用率や耐用年数からどの施設を存続させるかを市で決断し、進めていけば良いと思う。</p>		<p>早い段階で修繕を施せるよう、予防保全の視点を持ち、施設を長期間維持できるようにしたい。</p> <p>施設の再編においては、優先順位があると思う。</p> <p>市民の皆様の声を聴きながら全体を見渡し、統廃合する決断も必要だと考えている。</p>
<p>施設を適正配置していこうとする考え方には賛同できる。</p> <p>合併当初は税金や地域経済が良かったので施設に関することに手をつけていなかったのかもしれないが、今このタイミングでやらないと実現できないと感じている。</p>		<p>合併当初は、2市2町でサービス水準の一番高いところにあわせて行政サービスを進めてきたが、同じ状態を維持することは難しくなってきた。</p> <p>施設の現状や財政状況等を市民の皆様へきちんと伝え、今後の施設・事業のあり方を決断する時期だと考えている。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><老朽化施設の管理について> 合併当初に建設された施設も、そこから16年経過した今、傷んでいる部分もある。 耐用年数が50年となっている鉄筋コンクリート製の建物を長寿命化し、70年使いたいと言っていたが、耐震化の対策も必要であり、実質的にはかなりの投資をしないと維持できないのではないかと。なるべく早く施設の集約に取りかかり、パブリック（公共的）に使う方向で進めてほしい。</p>	<p>合併当時は、施設が比較的新しかったかもしれないが、1970年から1980年代に建てられ、築50年を迎えようとする施設が多くなっており、施設の再編に取りかかるにはラストチャンスだと考えている。 パブリックな利用というのはおっしゃるとおりで、子どもからお年寄りまで地域みんなが使える施設にできれば良いと考えている。</p>
<p>今は市所有となっている旧地方局の庁舎は、老朽化している。（現：西条市産業情報支援センター） 今は何とか使えても、対応を考えないと大変なことになるだろう。</p>	<p>昭和38年に建設されたこの建物は、耐震化対策ができていないこともあり、産業情報支援センターを現在のこどもの国へ移転し、複合施設として再編整備する。そして、跡地の利用についても考えていく。 まずは、この「（仮称）ひと・夢・未来創造拠点複合施設」整備計画が集約化・複合化のシンボルになるようにしたい。</p>
<p><市庁舎の集約について> 合併後16年経過したが、まだ旧行政区の名残があると思う。これをなくすためには、総合支所の機能がある程度縮小しながら、本庁に集中させてはどうか。 デジタル化の進展もあり、本庁にスタッフも集中させることで、力強い体制が作れるのではないかと。</p>	<p>総合支所のあり方は内部で検討を進めており、現時点では、令和4年度から丹原と小松は総合支所の機能をなくし、東予は縮小させようと考えている。 情報通信技術を活用しながら、例えば住民票をコンビニで発行できるようにするなど、市民の利便性になるべく低下しない環境を作りたい。 保健センターも4か所あり、東部と西部それぞれで一つにできないか考えている。</p>
<p><学校施設の利用率について> 学校施設の利用率が22.5%と説明があったが、現在でも、体育館や運動場はスポーツ少年団等が夜間にも使っているのだから、そこを配慮した数字を出す方が良い。</p>	<p>承知した。</p>
<p><公共施設の「複合化」について> 核家族が増え、なかなかお年寄りや交流する場が少なくなっているのだから、多世代の方とふれ合えるのは複合化の良い点であると思う。 一方、小学校と公民館が一緒の施設になることで、セキュリティの問題が不安である。</p>	<p>ご指摘のとおり、セキュリティの問題についての対策が必要であると認識している。学校は子ども達、そしてその親にとっても、安全で安心して過ごせる場ではなくてはならない。 1階を公民館、2階以上を小学校とし、授業中は2階以上へ立ち入りができないようにしている自治体もあるようだ。</p>
<p><学校の統廃合について> 市の財政状況が厳しくなると、学校の統廃合があるのではと不安になる。 多賀小学校は今後もあるという前提で、地域をどうしていくか、安心して考えられるようにしてほしい。</p>	<p>子どもがいる限り学校の統廃合は行わないと考えている。いつまでもとは言い切れないが、しっかり守っていく。 ただ、保護者の方から複式学級では教育がままならない等、統廃合を望む声が上がった場合には考えなければならない。</p>
<p><公共施設のあり方について> 集まる場所になるよう、公共施設のデザインをみんなで作考えながら進めていければ良いと思う。</p>	<p>みんなが使える公共施設にすることで、地域づくりに良い影響があると思う。施設が1つになることでみんなが集まり、顔を合わせることで人と人がつながっていくと思う。</p>
<p><地域づくりについて> 多賀地区では、地域は自分達で守らなくてはいけないという方向性で、地域づくりの中で取り組む内容を話し合っていきたい。</p>	<p>地域の課題をみんなですべて解決していくか。地域だけ、行政だけでは解決できないことも増えてきている。これからの地域コミュニティ（地域社会）のあり方も含め、地域と行政の協働によるまちづくりを進めていきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨
<p><今後の行政サービスのあり方について> これまでの施設やサービスが維持できなくなることは認識しているが、生活する上で最低限のことだけは維持してほしい。 例えば、ごみの分別について、松山市は厳しくしているとのことだが、同等の基準ですると高齢者には、対応が難しい部分もあるので、そのような方のことも念頭に置きながら今後の行政サービスを考えてほしい。 個別の意見は様々にあると思うが、全体の意見を集約して体制を整えていただきたい。</p>	<p>施設の縮充と同様に、行政サービス提供の上でも縮充の発想が必要になるのかもしれない。 優先順位をつけながら、そして社会的弱者の方の立場にも十分留意しつつ、行政はどう動くべきかを考えなくてはならない。</p>
<p><スポーツ施設について> 東予運動公園のプールをよく利用していたので、寿命なのかと思うと寂しい。 ビバ・スポルティアSAIJOは、他にはない独特で個性的な施設であり、これからもこのような施設を作っていけると良い。</p>	<p>特色のある施設(他と差別化を図る)というのは重要な視点である。</p>
<p><プールの今後について> 東予運動公園のプールはいずれなくなってしまう気がしている。プールの代わりとなる環境やサービスを考えてほしい。</p>	<p>令和元年の夏はスライダーの使用を中止し、提供できるサービスが十分でないと判断したので、無料開放とした。 夏季休暇中に各小学校のプールを開放できれば良いのかもしれないが、異常気象や監視者の確保等の面で難しいことも聞いている。 子ども達がプールで遊ぶことができる環境の確保について調査研究を行っているが、皆さんからアイデアがあれば、ぜひ頂きたい。</p>
<p><道路の拡張について> 人口が減少していくのに、道路の拡張をするのは何故か。すでにある道路の維持管理をした上で増やすのであればわかるが、歩道等でも草が生えて歩けない状況も多々見受けられる。</p>	<p>生活道路においては、通行の安全を確保することを目的として対応している。 道路の拡張に関しては、これ以上大幅に延ばしていこうという考えはないが、道路網のネットワークの必要性について、物や人の流れを考えながら見極めていきたい。</p>
<p><東予港周辺の渋滞について> オレンジフェリー方面への道路は1本しかなく、渋滞が発生しやすい。平日でもオレンジフェリー奥は、立地する企業の関係者(従業員含む)の車だけで数百台になる状況の中、災害時に避難することができるのか疑問である。</p>	<p>朝夕の混雑は承知している。 万が一の際にはゴルフ場跡地を利用できるように協定を結んでいるが、他の経路の必要性について考えたい。</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長> 公共施設マネジメントを後押ししてくれる意見をいただいた。別の意見があることも承知しているが、財政状況が厳しくなる中、施策に優先順位をつけながら覚悟を持って取り組みを進めていく。叱咤激励を含めてご意見をいただければありがたいと思っている。 <自治会長> 公共施設のあり方について良い勉強になった。これから本腰を入れて方向性をしっかり決めていただきたい。多賀地区においても、自分達で地域を守るためにみんなで努力して今後地域づくりを進めていきたい。</p>

<当日の様子>

